

令和3年度第1回ときがわ町国民健康保険運営協議会会議録

召集期日	令和3年8月5日(木)	場所	就業改善センター3階集会室		
開閉会日時	令和3年8月19日(木)午後2時00分～午後3時00分				
会長	村田朝子	会長代理	細田幸司		
委員出席状況					
席次	出欠	氏名	席次	出欠	氏名
1	出	柴崎政利	6	出	南部克俊
2	欠	稲原進	7	出	村田朝子
3	出	強瀬広子	8	出	細田幸司
4	出	小峰一雄	9	出	谷香織
5	出	萩川正嗣			
会議に参加したもの					
役職名	氏名		役職名	氏名	
副町長	小峯光好				
事務局(☆印は会議の書記)					
町民課課長	山口清史	出			
税務課主幹	式守康子	出			
町民課主幹	☆新井淳子	出			
会議の進行状況					
議事	内容				
1 開会	司会 主幹				
2 委嘱状交付	感染症対策のため、机上に配布				
3 あいさつ	副町長				
4 議事					
(1) 会長及び 会長代理の選出 について	<p>会長が決まるまで副町長が議事進行 会長に村田委員、会長代理に細田委員が選出される</p> <p>会長就任のあいさつ 会長：議長</p>				
(2) 令和2年度国民健康保険 特別会計決算について	<p>会長：議題(2) 令和2年度国民健康保険特別会計決算について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：令和2年度国民健康保険特別会計決算について説明を行う。</p>				

	<p>会長：令和2年度国民健康保険特別会計決算について、質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>(3) 国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について</p>	<p>会長：議題(3)国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について説明を行う。</p> <p>会長：国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について、質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>(4) 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について</p>	<p>会長：議題(4)令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について説明を行う。</p> <p>会長：令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>(5) 令和3年度国民健康保険税の状況について</p>	<p>会長：議題(5)令和3年度国民健康保険税の状況について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：令和3年度国民健康保険税の状況について説明を行う。</p> <p>会長：令和3年度国民健康保険税の状況について、質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>(6) その他</p>	<p>会長：その他、事務局から何かありますか。今までの中で、全体を通して委員の皆さんの中から何かありましたら伺いたいと思います。何かございますか。事務局お願いします。</p> <p>事務局：会議資料他の配布資料(埼玉県国保連合会広報3冊、国民健康保険の概要1冊)、報酬、今後の予定(会議開催日程等)について説明を行う。</p> <p>委員：国保税のコロナウイルスの影響による減免についてのお話がありましたが、マイナスの分、減免額というのは国保特別会計の方から下りてくるものなのですか。</p> <p>事務局：税を減免した分の補填ということでしょうか。</p> <p>委員：そうです。補填ということですよ。</p>

事務局：補填につきましては、先程の決算の中で国庫支出金というのがあります。そこで10分の6は国の補助金となります。その他については国保会計全体の中で、10分の4については賄っているということです。

委員：100%国からということではないのですね。結構厳しいわけですね。

事務局：そうですね、全額かなと考えてはいたのですが…。

(※翌年度の調整交付金に10分の4相当の補填あり。)

委員：資料2で、一人当たりの医療費の状況ということで7ページの一番下ですが、一昨年度が県内順位で1位ということ、昨年度は未定ではあるのですが、一昨年度と大きくは変わらないということですかね。県内でも上の方になる？

事務局：5番くらいに入るかなと思っています。このところ上位かなと思います。ちなみに高齢者医療については確か3番くらいでした。5番以内くらいかなと思っています。

会長：高齢化（が関係している）ということですかね。利用者の…。

事務局：そうですね。前期高齢者の様子を内書きで資料をお示しできれば良かったのですが、65歳から74歳の方たちの医療費の単価は、他の世代よりかなり高いかなと思っています。国保連合会から統計資料が届いてこの順位等が分かるのですが、まだ届かず今回は資料として間に合いませんでした。

会長：1位というのは気になりますよね。そんなに医療費を使っているのかと思うとね。

委員：レセプトの中で金額が900万以上の高い方がいるので、それで底上げしてしまっているのだと思うのですね。

事務局：その方が町の5%を占めています。

委員：町の人口が多ければいいのだけれど、人が少ない割に金額の大きい方がいると…。

事務局：それもあると思います。今までは透析等の方がときがわの割合としては大きかったのですが、令和元年度あたりからは調剤費がかなりかかっているのではないかと思います。

委員：これからは色々な薬品が新しい物が出て高くなりますから、医療費は上がると思いますね。

事務局：今までは入院の費用がレセプトの高額の方にあっただと思いますが、ちょっと前には肝炎の薬だとか、最近では、がんでも入院外・外来で肺がんの薬なども出ているようですので、その辺がレセプトを見ますと薬による治療というのがかなり高額で出てきていると思います。

委員：血液製剤は高いですからね。何万の単位になるから仕方のないことかも知れません。

事務局：少し前に1錠で億の単位の薬が承認されたと出ていまして、どれ

くらいの方が使用されるのかなというところは気になっていますが、何件か出てくるとかなりきついと思いますので、その点はやはり広域化した方が負担は薄まるのかなと思っています。

委員：他の疾病に関しては例年と特に変わらないという状況ですか。

事務局：そうですね、レセプトも拾ってはみたのですが、資料2の8ページを確認していただくと、元年度は入院だと新生物・がんの関係が多かったのですが、今回については循環器系の方が多いい形になっています。外来については昨年とほぼ同じ内容かと思います。

委員：質問いいですか。資料5の出産費資金貸付基金条例の廃止について、反対するわけではないのですが、たまたま、私も娘が今妊娠中でありまして、周りにも妊娠している方がいるのでこういう基金があることなどを知っているのかどうか疑問に思います。少子化でどんどん子供を産まなくなってきているので、やはりこういうところは残してあるのだというところをアピールしてからの方が私としてはいいのかなと感じました。本当に今コロナ禍で、よくぞ出産を望んでくれたということが、私としても嬉しいことであり、やはりそういう事も含め、大勢の皆さんがこれから子供をどんどん増やして後継者を作りたいのだということは今更ながら思うようになりました。そういう意味で、反対ではないのですが、参考にしていただければと思います。

事務局：ありがとうございます。今回廃止する基金につきましては、医療にかかった方が退院するときに分娩費や入院費などを支払う中で、今まで、平成21年度以前は一旦全部自分で支払っていました。40～50万円を窓口でお支払いして、退院後申請をされて、その方に42万円を振り込むという形で行っていて、その一時的に立て替える費用がない方に貸し付ける基金だったわけですが、今は最初からその42万円を差し引いた額を窓口で支払って退院するという形になりましたので、その基金を借りて一時的に支払いをするという選択をする必要がないと言いますか、選択肢としては残していたわけなのですが、ほぼ全ての方が、医療機関が直接（一時金を）受け取って、その差額だけ支払って退院するという形を選んでいきます。ですので、一時的に40万、50万を支払って後から一時金をもらうということにあまりメリットがないということなので、この近隣でも残っているところもあるのですが、今は廃止していく方向になり、違う制度の方を進めていくという流れになっています。

委員：そうですか、分かりました。

会長：コロナ禍でね、出産するという、勇気というか、皆さんが周りで見守ってあげないと不安ですよ。

委員：ましてや自分の娘ですから、それをすごく感じましたね。

<p>5 閉会</p>	<p>会長：他に何かありますか、よろしいですか。 それでは以上で議事が終了いたしましたので、これで議長の任を解かせていただきます。後になりましたけれども、祓川先生、南部先生におかれましては、本当にワクチンのご協力をいただいておりますが、ご自分の健康にもぜひ気をつけて、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>事務局：以上を持ちまして、令和3年度第1回国民健康保険運営協議会を閉会といたします。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
-------------	---

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証する。

令和3年9月30日

ときがわ町国民健康保険運営協議会会長 村田 朝子